



ほたる舞う学び舎

令和2年度 5月号

学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い 命・人権・平和を大切に
ち 力いっぱいがんばり
の 伸び伸びと
た 楽しく活動
に ニコニコ笑顔の絶えない
「いちのたに」の子

ピンチをチャンスに

校長 池戸 龍一

3月2日の全国一斉臨時休校から2ヶ月が過ぎました。学校では、外出自粛に取り組んだゴールデンウィーク明けからの学校再開に向けて準備してきましたが、緊急事態宣言が5月31日まで延長となってしまいました。今回のゴールデンウィークは、ご家庭ごとに、様々なステイホームでの工夫をされ、「親子で一緒に過ごせる時間が増えました。」「家族で久しぶりに〇〇をやって楽しみました。」「初めて〇〇に挑戦しました。」という声が聞かれる一方で、子供たちの生活習慣の乱れや学習の遅れを心配する声も聞こえ、様々な要因から不安やストレスを募らせているご家庭もあるかと思えます。



学校でも、今回の延長は子供たちの学び、心身の健康、健全育成を図る上で大きな課題と捉え、対応を検討しております。現段階では、メールやホームページでお知らせしましたとおり、まず第1弾として来週から登校日を設定します。この登校日は、子供たちが通常の学校生活に可能な限り近い毎日を過ごせるように、各担任が各学年の発達段階を考え作成した1日のスケジュールや週の時間割、学習課題を配布または、それらを提出するために設けます。もう一つは、子供たちが課題やその他、心配なこと



や困ったことを相談できる場の設定という意味もありますので、担任の他、養護や専科の先生にも対応してもらおう予定ですので、子供たちに「何か聞きたいことがあったら聞いてごらん。」と声をかけてあげてください。

なお、今回の登校日また指定された時間帯に都合がつかない場合は、他の時間帯でも、保護者が来校されても構いません。

私は、先行きの見えない不安の中で過ごす子供たちに、今こそ大人たちが、この困難の中でも前向きに力強く生きることの大切さを示していくことが重要だと思います。子供たちは普段以上に「学校に行きたい!」という気持ちが強くなっており、見方を変えれば、「学び」というものを心豊かに捉え直すチャンスとも言えます。この春から完全実施となった新学習指導要領のキーワードは「主体的、対話的で深い学び」です。様々な課題をこなすのではなく、自ら計画的に実行する、家族に相談しながら一緒に考える、どうしたら解決するか悩みながら取り組む、といった学びの時間は、未来を生きる子供たちにかげがえのない力を伸ばしてくれるかもしれません。これからも学校は、「子供たちのためにどうしたらいいか」と悩みながら進んでいきます。どうか、今後も保護者・地域の皆様のお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

